

# 質 疑 応 答 書 ( 5 . 1 9 ① )

令和8年5月19日

物件名 : 須賀小学校地域拠点施設建設第3・第4校舎等解体及び建築工事

NO	図面番号	質疑	回答
1	質疑回答 No.8	別紙アスベスト調査報告書を確認しましたが、第3校舎、第4校舎の外壁、軒天の仕上塗材(吹付タイル)にアスベスト含有無しとありました。参考数量書P433、P436のアスベスト除去は無いものと考えて宜しいでしょうか？	参考数量書P433、P436のアスベスト除去について、第3校舎解体の中に配膳室のアスベスト除去を見込んでおります。外壁、軒天のアスベストは配膳室部分の数量となります。また、第4校舎解体の中にはトイレ棟のアスベストと除去を見込んでおり、外壁、軒天のアスベストはトイレ棟部分の数量となります。配膳室とトイレ棟のアスベスト調査報告書を添付します。
2	A801 M001	工程手順図に※キュービクル、浄化槽はSTEP③にて解体とありますが、(令和10年5月～9月末、本工事工期外)STEP③は本工事別途範囲のため、その部分の外構工事も含めて別途工事と考えて宜しいでしょうか？	工程手順図のキュービクル、浄化槽の撤去はSTEP②の誤記です。既存校舎から新設校舎に児童らが引越した後(夏休み期間を想定)、撤去することとします。キュービクル及び浄化槽部分の外構工事の実施範囲や方法については、現場段階での協議とさせていただきます。
3	A801	上記質疑に関して、既存キュービクル、浄化槽解体が本工事の場合、新築工事引渡し後の解体工事となるため、解体工事時山留め等の必要性はありませんでしょうか？既存キュービクル、浄化槽の既存図面無きため、既存図ご提示お願いします。	既存図が無いためキュービクル及び浄化槽の図面提示ができません。山留めの必要性は既存図が無く現時点での判断が難しいため、現場段階での協議とさせていただきます。
4	A701～ A719 参考数量 P432、 435	既存第3校舎・第4校舎・プールの基礎の既存構造図及び杭伏図無きため基礎及び杭形状が不明です。既存構造図ご提示をお願いします。また杭引抜後の埋戻しは、良質土とありますが、20mだと流動化処理土等の必要があるように思いますが、必要な場合変更協議の対象で宜しいでしょうか？	既存図が無いため図面の提示ができません。杭引抜後の埋戻しは、良質土と問題ないと考えておりますが、流動化処理土等の必要性については、杭施工業者の判断によると考えますので、現場段階での協議とさせていただきます。
5	A071 参考数量 P28	A071図F-26 地業A断熱材 ポリスチレンフォーム2種b厚25+25とありますが、厚50mmで宜しいでしょうか？	25mm厚の断熱材を千鳥配置とすることで、断熱欠損を無くするための配慮ですので、25mm厚重ね貼りと考えてください。
6	A-059～ A064 参考数量 P29	屋内体育館土間コンクリート下にFPパネル25とありますが、FPパネルの仕様は不明です。ポリスチレンフォーム2種b厚25と読み替えて宜しいでしょうか？それとも硬質ウレタンフォーム断熱材アキレスボードAG厚25同等品でしょうか？ご教示願います。	ポリスチレンフォーム2種b厚25と読み替えてください。
7	A033 S-N005 他 参考数量 P300他	※(二重天井)と表記のあるものは、仕上の天井裏側にGB-F12.5+12.5の防火被覆が必要とあり、参考数量書に天井強化せっこうボード張り(GB-F)厚12.5+12.5突付け 直貼りとの項目があります。構造図2階伏図だと二重天井の直貼り天井下地が大引き@606もしくは@910で天井下地が無いと貼れないように思われますが、天井下地が必要な場合は、変更協議の対象として宜しいでしょうか？	よろしいです。
8	A033 参考数量 P356	吹抜け縦型ブラインド 電動式 W6060×H2210が4ヶ所の記載になっていますが、メディアセンター3の吹抜け部1ヶ所しか見当たりません。その他3ヶ所の設置場所ご教示願います。	吹抜け縦型ブラインド 電動式 W6060×H2210は、メディアセンター3の吹抜け部1ヶ所にのみ設置に変更とします。
9	A151 A166 A331	スチール製ガラスパーテーションSP-02、SP-03が建具表と参考図で相違があります。参考図通りSP-02:2ヶ所→GP-1(シングルガラス)GP-2(ツインガラス)、SP-03→GP-3の仕様で宜しいでしょうか？姿図に関しても、参考図通りの姿図で宜しいでしょうか？	参考図はあくまで参考としていただき、建具表を正としてください。
10	A501 A505	外構図Be4、Be8のタイルベンチ ※タイルはワークショップで製作とありますが、タイルは御支給して頂いたものを貼る形でしょうか？ご教示願います。	仕様には名古屋モザイク「アートモザイク」同等品程度で見込んでいますので、本工事対応としてください。施工は施工WSで実施します。
11	A503 参考数量 P411	T4 ダンコウバイ株立の支柱形状について【図面】八掛、【内訳書】地下式支柱となっております。どちらを正といたしますか。	地下式支柱を正としてください。

12	A503 参考数量 P411	T8 イロハモミジの形状について 【図面】単幹、【内訳書】株立となっております。 どちらを正といたしますか。	株立を正としてください。
13	A503 参考数量 P418	植栽基盤 植栽土壌で(高木/低木地被/芝生)と対象範囲(t)が 計上してありますが、こちらは客土のみと考えてよろしいでしょうか。 土壌改良は行わない。また、掘削残土処理は、植栽工事では 計上しなくてよろしいでしょうか。	土壌入れ替えを想定しておりますので、土壌改良は実施しませ ん。掘削残土については実施する必要があります。
14	A503 参考数量 P418	土壌改良範囲(深さ)をご教授願います。また、土壌改良仕様も ご教授願います。	土壌改良の範囲は、GCP-Eの範囲(トウカエデ廻り)290㎡で、深 さ60cmとしてください。 土壌改良の仕様は、既存土壌 1m3あたり下記とします。 ・土壌改良剤(有機質系):0.1m3 ・土壌改良剤(黒曜石系パーライト):0.1m3 ・緩効性化成肥料:0.7Kg ・固形肥料 :0.7Kg
15	A503 参考数量 P418	植栽基盤マルチングの敷厚について 【図面】t30、【内訳書】t60となっております。どちらを正といたしま すか。	t60を正としてください。